

# 【学校施設見学報告書】木更津市立中郷小学校

令和4年10月11日（火）午後

## <目次>

1	施設概要	1
2	施設見学写真	3
3	質疑応答	7
4	参加者感想（アンケートとりまとめ）	8

### 【参加者】

<青堀小学校改築基本構想・基本計画検討委員会委員>

城森 隆之、野尻 剛史、安藤 玲仁、榎本 孝、安室 良二、平野 恵子、  
平野 勉

<事務局>

中山 淳子、山下 知哉

木更津市立中郷小学校は、旧校舎の改築によって木造校舎、RC造の屋内運動場が整備され、平成31年4月から使用されている。

## 1 施設概要

所 在：木更津市井尻 978

敷地面積：10,818 m<sup>2</sup>

構 造：木造 地上1階（校舎）、RC造2階（屋内運動場）

延床面積：1,409 m<sup>2</sup>（校舎）、624 m<sup>2</sup>（屋内運動場）

### <施設外観>



### <敷地配置>



画像 Google map より

### <児童数等>

児童数は、令和4年5月1日時点では、下表のとおり児童数90人であり、木更津市の小規模特認校（※別紙参照）に指定され、市内の学区外から約20人が通学している。

また、地域と連携した取り組みが多く行われている学校である。

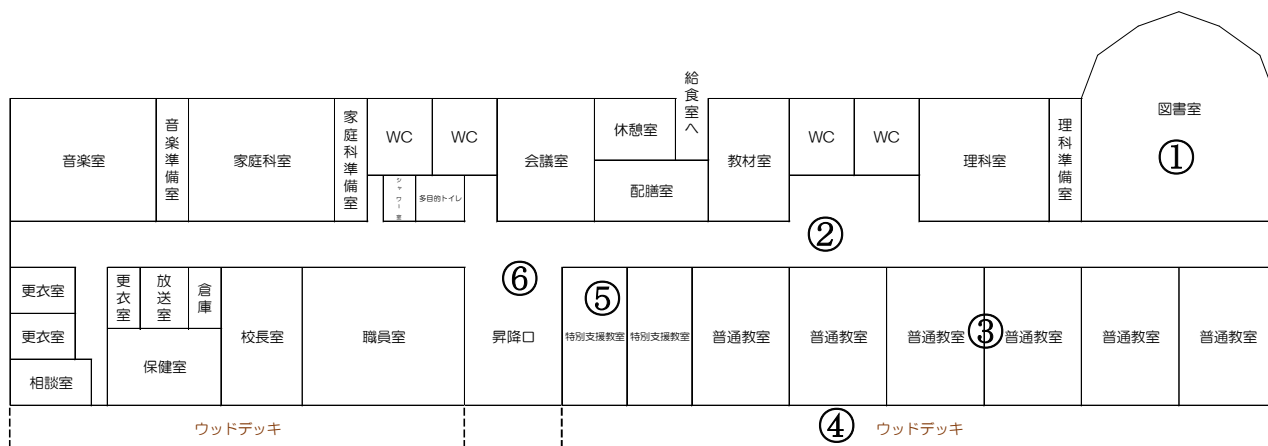
学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級数		1	1	1	1	1	1	2	8
児童数	男	8	4	12	5	3	5	9	46
	女	9	5	5	7	9	9	0	44
	計	17	9	17	12	12	14	9	90

### <施設の特徴>

木造平屋建ての校舎は、木の香り、温もりが感じられるとともに、校舎の横幅全面に施工されたウッドデッキと、放射状の梁組みにより開放的な空間となる図書室が特徴である。また、普通教室の広さは、1クラス最大でも20人程度の児童が使用することを想定し、一般的な広さの約2/3程度となっている。

## 2 施設見学写真

### <校舎フロアマップ>



### <①図書室>



校舎内で一番広い空間となっており、開放的なスペースで、活用方法は様々。

<②廊下>



廊下は、構造体の梁が見える構造で、明り取りの窓からの採光がよく開放的。板張りの壁の雰囲気もよい。

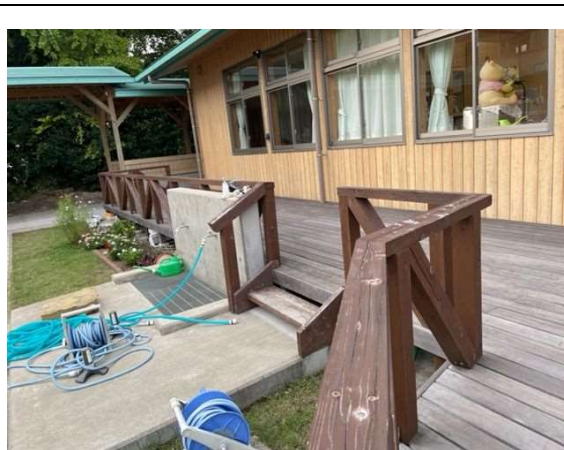
<③普通教室>



柱、床仕上げ、内部仕上げ、内部建具のみならず、掃除用具入れや広めのロッカー等の家具類も木製となっている。

出入口の木製建具は、軽い素材で開閉がスムーズであった。

#### <④ウッドデッキ>



教室からグラウンド側に出るとウッドデッキが広がる。  
ウッドデッキは、交流イベントなど学校行事でも活躍している。  
天然木のウッドデッキであり、メンテナンスは頻繁に行う必要がある。

#### <⑤特別支援教室>



特別支援教室は、普通教室よりもさらに縦幅が短く、横長の形状となっている。  
各部屋の表示も木で製作されている。

#### <⑥昇降口>



昇降口は、職員・来賓玄関と共通で、校舎の中心に位置されている。

<屋内運動場>



校舎から木造の渡り廊下を通り屋内運動場へ接続。屋内運動場は、RC造でコンパクトに設計されおり、屋根は木造校舎と同じグリーン系の屋根材、内壁は木質系の素材を用いており、木造校舎との統一感が感じられる。

### 3 質疑応答

Q 1 木造校舎は、児童が落ち着いて学習できるなど、良い影響を感じることはあるか？

A 1 校舎に入って感じられたように、児童も木の香り、木の温もりを感じることは、児童の精神的な安定に影響を与えていると考える。

Q 2 木造校舎の管理について苦勞することはあるか？

A 2 ウッドデッキのささくれや外壁の劣化など、学校のみで管理することは困難なため、市と協力して実施していく必要がある。

Q 3 校舎の結露はあるか？

A 3 特にありません。

Q 4 小規模特認校として学区外から入学する理由は、どのようなものか？

A 4 理由は様々であるが、新しい木造校舎であることや、小規模校を希望する方もいる。

Q 5 学校図書はバーコード管理されているか？

A 5 現在バーコードによる書籍管理の準備を行っている。また、市内の学校の先駆けとして、市立図書館と連携し、電子書籍が利用できる環境となっている。

Q 6 地域との連携としてはどのような取り組みがあるか？

A 6 公民館の文化祭や、地域の夏祭りを学校で実施することもある。また、校庭の芝生化プロジェクトは木更津法人会の協力により実施している。

5年生のお米作りでは、地域の農業委員が協力し、GPSを利用した最新鋭のコンバインに触れることができたり、米粉を利用した取組みなどがあり、農業を将来の職業として意識できるような仕組みである。

Q 7 放課後児童クラブなど、放課後の児童の過ごし方は？

A 7 放課後児童クラブは、校舎の裏手に私立の施設があり、約40人が利用している。また、コロナ禍で休止となっていた放課後子ども教室が10月から再開となった。



#### 4 参加者感想（木更津市立中郷小学校見学アンケートとりまとめ）

##### Q 1 施設について印象が残ったもの

木造建築であること

その理由は…  
木の香り、色、温かみ、ぬくもりを感じられた。  
木の香りで、ストレスなく、児童のやる気が出ると思う。

各教室の表示プレート

ベランダのウッドデッキ

図書室の整備、空調が良好。

シャワールーム

##### Q2 青堀小学校の施設に取り入れたいもの

木造建築でない場合は、内装に木材を多く取り入れる。

その理由は…  
外部が木材であると、外部のメンテナンスが数年で必要となる。

ウッドデッキ的なスペース（部分的でも）

その理由は…  
くつろげる。子供たちの心が少しでも穏やかになれば。

誰でも使える多目的トイレ

その理由は…  
バリアフリーに配慮したトイレづくり。

図書室が管理されていてきれい。

メンテナンスを考えると木造は難しそう。

木のぬくもりは感じてほしい。内装、プレート等に木を使うことはできそう。日本の気候にあった校舎づくりをしてほしい。

職員室の入口の受付

その理由は…  
来客の把握のため。

職員室と児童の昇降口が一緒に、1階に配置されている。

その理由は…  
防犯上入口を統一し、職員室と事務室は1階の方が管理しやすいため。

図書室の本の整理

##### Q3 施設以外で取り入れたいもの

通学バス

その理由は…  
学区外からも通学できる。

図書室の本の整理

その理由は…  
バーコード管理がされている。  
木更津市立図書館との連携で電子図書の活用をしている。

##### その他気づいたこと、疑問点、思ったこと

バルコニーを作ってほしい。

道具を入れるスペースが少なかった。

##### 視察全体を通して思ったこと

バリアフリーに配慮した校舎づくりをしてほしい。

保護者の意見を最優先しつつ、予算の範囲内で可能な限り保護者の意見を反映していただければと思う。